

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
①	指標名	施設修繕計画の策定			目標値	施設の適正な維持管理と修繕計画に則した資金計画	実績値	施設の適正な維持管理と修繕計画に則した資金計画
	過去の実績 (単位:)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	取組内容	法人では建築系専門職員がいないため、外部委託により専門家の知見を活用して施設修繕計画を策定した。また、その計画に基づき中長期的な施設修繕及び建替に必要となる財源面を検証・整理することを目的に中期財政計画を策定した。						
	一次評価	当初の目標どおり施設修繕計画を策定し、中期財政計画についても策定した。今後、法人内で施設改修の優先順位をつけ、修繕等着手への準備を行う。また、必要となる資金の調達・確保に向けた取組や積立などを進める。						
二次評価	施設の適正な維持管理を目的として、施設修繕計画を策定し、その実行に向けた資金計画として中期財政計画を策定したことについて評価する。ただし、工事内容や金額の妥当性について十分な精査を行うとともに、国等の補助金獲得に努力していただきたい。その上で、市からの補助スキームについても市とよく協議の上検討していただきたい。							
②	指標名	健全経営のための財務改善			目標値	40,000,000円 (当期資金収支)	実績値	42,399,050円 (当期資金収支)
	過去の実績 (単位: 円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	106.0%	達成状況	達成
	取組内容	<p>第五期中期基本計画に沿った取組みを継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業及び業務の見直しの継続 ・サービス報酬増額への取組み ・ICT導入等による事務の更なる効率化 ・ミライズ基金の周知と活用 ・職員給与・手当見直しの検討を継続 ・施設修繕計画の作成 ・施設修繕計画に基づく計画的な積立 						
	一次評価	障害福祉サービス等事業収入の増加等により、令和5年度の法人全体の資金収支(当期資金収支差額合計)は4,239万円となり、目標を達成した。(前年度比1,723万円の増加) 財務状況が厳しい特別養護老人ホームゆとりえについては、光熱水費の削減などにより収支マイナスの縮減が図られたものの、引き続き経営改善に取り組んでいく必要がある。 福祉作業所の建て替えや、借入金の返済、経年劣化していく法人所有施設の修繕・改修等へ対応していくために計画的な積立を行うとともに、事業全体において一層の収益性拡大と経費の削減を行い、財務改善を図っていく必要がある。						
二次評価	令和5年度の資金収支(当期資金収支差額合計)が前年度より増加し、目標値を大幅に上回ったことについて高く評価する。今後所有施設の修繕・改修を見据えた積立に対応するため、継続的な黒字化を目指していただきたい。							
③	指標名	第六期中期基本計画の策定			目標値	次期(令和7~9年度)の計画策定	実績値	次期(令和7~9年度)の計画策定
	過去の実績 (単位:)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	取組内容	法人職員は市の計画策定の委員や、部会の委員となっているため、市への情報提供及び、市との情報共有を図りながら計画策定を進めた。また、法人内職員の人材育成の観点から法人内の計画策定には、第五期を策定した職員と新規に策定に参加する職員が連携・協力しながら進めた。						
	一次評価	当初の目標どおり第六期中期基本計画を策定した。今後も職員参加を基本とした進捗管理を進めていき、第六期中期基本計画の推進を図っていく。						
二次評価	組織的な職員参加のもと、第六期中期計画策定を進められたことを評価する。今後、計画の着実な実行を期待する。							